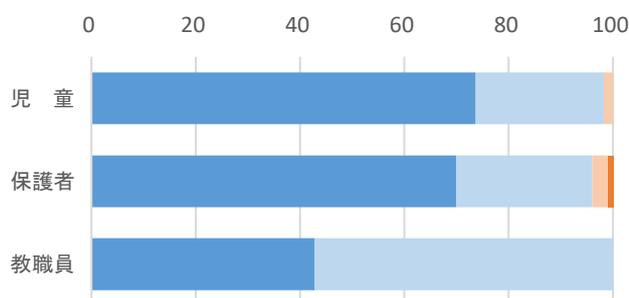


質問 1 全般 に関する項目

- (児 童) あなたは、毎日楽しく学校に通うことができますか。
 (保 護 者) お子さんは、楽しく学校に通っていますか。
 (教 職 員) 子どもたちは、楽しく学校に通っていますか。

1	ややあてはまる あてはまる ややあてはまる ややあてはまる あてはまら ない			
	A	B	C	D
児 童	73.7	24.6	1.8	0.0
保 護 者	70.0	26.0	3.0	1.0
教 職 員	42.9	57.1	0.0	0.0

(%)



<学校コメント>

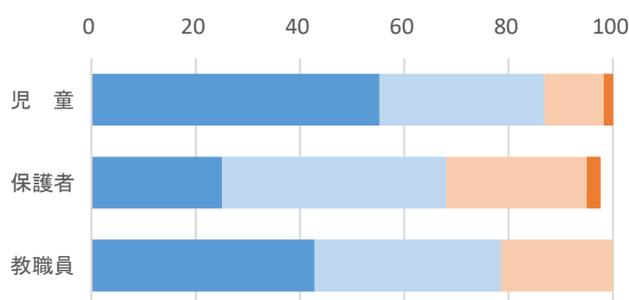
【AB群（前年比）児童98.2%（+2.6）、保護者96.0%（+1.3）、教職員100%（+7.1）】
 ○児童・保護者・教職員ともにAB群が増えている。多くの児童が毎日楽しく学校に通っている実感をもっており、保護者や教職員も同様に受けて止めている。
 ○特に、児童がCD群の児童が前年比-2.6%（D群は0人）であることから、児童間の良好な人間関係作りが進んでいることがうかがえる。
 ●個別にみると、児童・保護者にCの回答が見られる。全員がAB群に入れるよう、子ども一人一人に寄り添った支援・指導の工夫が求められる。

質問 2 全般 に関する項目

- (児 童) あなたは今、将来の夢や目標を持って生活していますか。
 (保 護 者) お子さんは、現在夢や目標を持って生活していますか。
 (教 職 員) 子どもたちは、現在夢や目標を持って生活していますか。

2	ややあてはまる あてはまる ややあてはまる ややあてはまる あてはまら ない			
	A	B	C	D
児 童	55.3	31.6	11.4	1.8
保 護 者	25.0	43.0	27.0	2.6
教 職 員	42.9	35.7	21.4	0.0

(%)



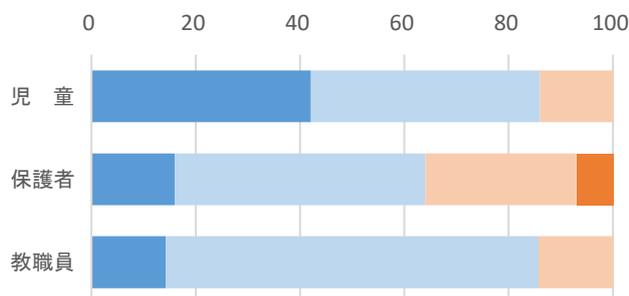
【AB群（前年比）児童86.8%（+4.4）、保護者68.0%（+2.5）、教職員78.6%（-14.3）】
 ○児童・保護者は将来の夢あるいは行事等に対するめあて・目標をもって生活している割合が増加している。特に保護者は、A群の割合が6%上がった。
 ●児童・保護者と教職員の評価に差が見られる。教職員はC群が1名増加した。夢や目標の捉え方を統一するとともに、授業や行事でめあてを立て、振り返りをするを継続していく必要がある。

質問3 学習 に関する項目

- (児童) あなたは、難しい問題にも粘り強く取り組んでいますか。
 (保護者) お子さんは、難しい問題にも粘り強く取り組んでいますか。
 (教職員) 子どもたちは、難しい問題にも粘り強く取り組んでいますか。

3	ややあてはまる あてはまる ややあてはまる ややあてはまる あてはまら ない			
	A	B	C	D
児童	42.1	43.9	14.0	0.0
保護者	16.0	48.0	29.0	7.0
教職員	14.3	71.4	14.3	0.0

(%)



<学校コメント>

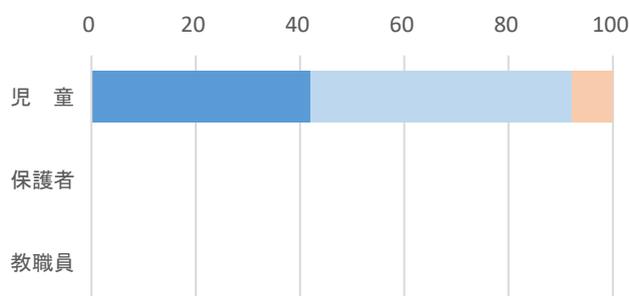
【AB群(前年比) 児童86% (+0.9)、保護者64.0% (-3.3)、教職員84.3% (±0)】
 ○児童・保護者の評価が1~3ポイントの上下があるが、ほぼ現状維持である。
 ●児童の自己評価に対して、児童の姿を見る保護者と教職員がA群と捉えている割合が少ない。大人から見ても「難しいことに粘り強く取り組んでいる」と評価できるような姿を引き出せるようにしていく必要がある。
 ●一方で大人が受け止めている以上に子どもは課題に対峙しているということ認識し、児童の努力を認めていく必要がある。

質問4 学習 に関する項目

- (児童) あなたは、授業での話し合い活動に積極的に取り組んでいますか。
 (保護者) 【※ 児童のみ回答】
 (教職員) 【※ 児童のみ回答】

4	ややあてはまる あてはまる ややあてはまる ややあてはまる あてはまら ない			
	A	B	C	D
児童	42.1	50.0	7.9	0.0
保護者				
教職員				

(%)



<学校コメント>

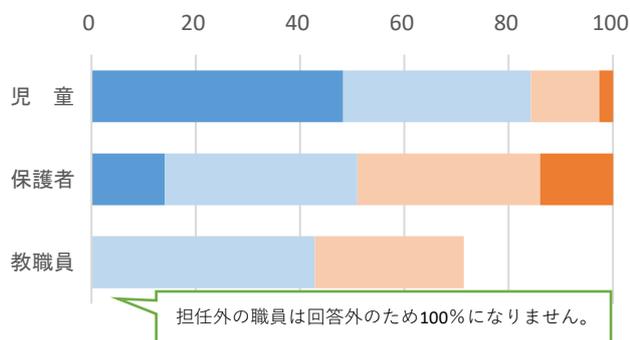
【AB群(前年比) 児童92.1% (+3.5)】
 ○全体的な傾向としては、多くの児童が話し合い活動に積極的に参加できていると実感していると言える。現職教育で子ども同士のかかわりを増やすように取り組んできたことが成果につながっている。
 ○C群の割合が2%減り、昨年度いたDの児童が0になったことも成果である。
 本校の現職教育研究における「子ども同士のかかわり」をさらに深化・拡充していけるよう日々の授業を改善していく必要がある。

質問5 学習 に関する項目

- (児 童) あなたは、家庭学習を毎日目標時間以上していますか。
- (保 護 者) お子さんは、毎日決められた時間以上家庭学習をしていますか。
- (教 職 員) 子どもたちは、毎日決められた時間以上家庭学習をしていますか。

5	ややあてはまる		あてはまらない	
	A	B	C	D
児 童	48.2	36.0	13.2	2.6
保 護 者	14.0	37.0	35.0	14.0
教 職 員	0.0	42.9	28.6	0.0

(%)



<学校コメント>

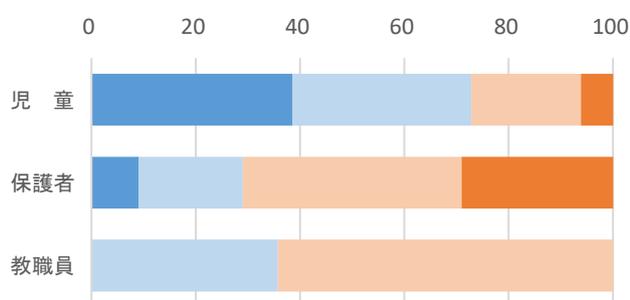
【AB群（前年比）児童84.2%（+10.5）、保護者51.0%（-3.9）、教職員42.9%（-21.4）】
 ○児童はAB群が10.5ポイント増加している。
 ●昨年度も児童と教職員・保護者の認識に開きがあったが、今年度は特に教職員においてその開き具合が大きくなっている。A群が0人なのは大きな課題である。教師側も家庭学習のねらいを捉え直し、児童が進んで家庭で学習に取り組んでいけるよう宿題の出し方を考え直す必要がある。

質問6 学習 に関する項目

- (児 童) あなたは、進んで本を読み読書を習慣にしていますか。
- (保 護 者) お子さんは、読書の習慣はありますか。
- (教 職 員) 子どもたちには、読書の習慣はありますか。

6	ややあてはまる		あてはまらない	
	A	B	C	D
児 童	38.6	34.2	21.1	6.1
保 護 者	9.0	20.0	42.0	29.0
教 職 員	0.0	35.7	64.3	0.0

(%)



<学校コメント>

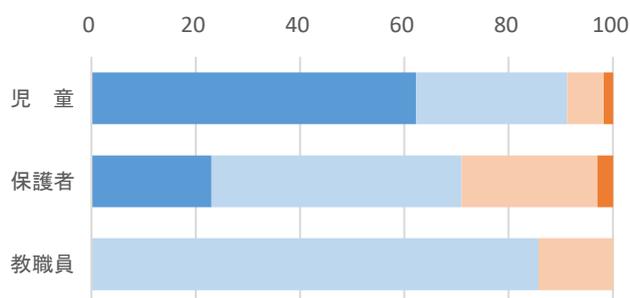
【AB群（前年比）児童72.8%（+5.3）、保護者29.0%（-7.3）、教職員35.7%（-14.3）】
 ●全体的な傾向としては、児童は読書の習慣化が進んでいると評価しているが、課題が多い。
 ●保護者の評価は、昨年度同様低いままである。教師はA群は0人であるのは、大きな課題である。読書好きな児童を増やし、家庭でも読書する習慣を身に付けられるようにしていく必要がある。委員会や図書支援ボランティアなどによる読み聞かせや環境作りを進めていく。

質問7 礼儀・思いやり に関する項目

- (児童) あなたは、進んで気持ちの良いあいさつをしていますか。
 (保護者) お子さんは、進んで気持ちの良いあいさつをすることができますか。
 (教職員) 子どもたちは、進んで気持ちの良いあいさつをすることができますか。

7	ややあてはまる あてはまる ややあてはまる ややあてはまる あてはまら ない			
	A	B	C	D
児童	62.3	28.9	7.0	1.8
保護者	23.0	48.0	26.0	3.0
教職員	0.0	85.7	14.3	0.0

(%)



<学校コメント>

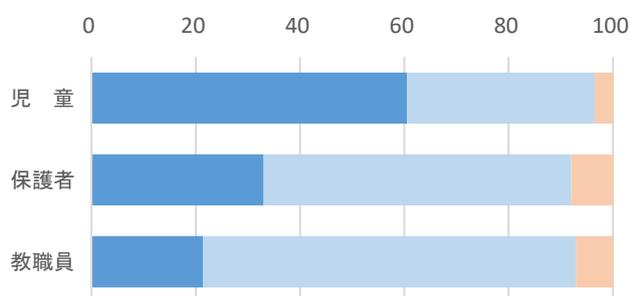
【AB群(前年比)児童91.2%(+3.5)、保護者71%(-5.1)、教職員85.7%(+14.3)】
 ○全体的な傾向としては、多くの児童が進んで気持ちの良いあいさつができるようになってきていると感じている。児童のA群は7%増加している。
 ○特に教職員は、B群が14.3%上がっている。生徒指導協議会で、課題を共有し改善に向けて取り組んできたことが少しずつ成果につながっているようだ。
 ●教職員のA群の割合が0である。「気持ちのよいあいさつ」ができるよう、学校全体で取り組んでいく必要がある。
 ●あいさつができていないと思われる児童も少なくないため、保護者にも情報を提供しながら、家庭と学校が連携しながら継続的に指導していく必要がある。

質問8 礼儀・思いやり に関する項目

- (児童) あなたは、学校や家庭・社会のきまりを守って生活できていますか。
 (保護者) お子さんは、社会のきまりを守って生活できていますか。
 (教職員) 子どもたちは、社会のきまりを守って生活できていますか。

8	ややあてはまる あてはまる ややあてはまる ややあてはまる あてはまら ない			
	A	B	C	D
児童	60.5	36.0	3.5	0.0
保護者	33.0	59.0	8.0	0.0
教職員	21.4	71.4	7.1	0.0

(%)



<学校コメント>

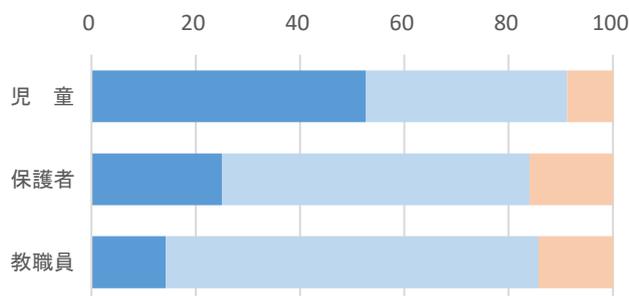
【AB群(前年比)児童96.5%(+3.5)、保護者92.0%(-3.6)、教職員92.9%(-7.1)】
 ○全体的な傾向としては、児童・保護者・教職員が概ね学校や家庭・社会のきまりを守って生活していると実感している。
 ●保護者・教職員ともにB群の割合が高い。A群の割合が高くなるよう指導していく必要がある。そのために、きまりを守ることの意義を考えさせる機会を多く設定したり家庭との情報共有を継続したりしていく必要がある。

質問9 礼儀・思いやりに関する項目

- (児童) あなたは、どんな人にも思いやりの心を持ち、相手のことを考えて話を聴くことができますか。
 (保護者) お子さんは、どんな人にも思いやりを持ち、相手のことを考えて話を聴くことができますか。
 (教職員) 子どもたちは、どんな人にも思いやりを持ち、相手のことを考えて話を聴くことができますか。

9	ややあてはまる あてはまる ややあてはまる ややあてはまる あてはまらない まる まら まらない ない			
	A	B	C	D
児童	52.6	38.6	8.8	0.0
保護者	25.0	59.0	16.0	0.0
教職員	14.3	71.4	14.3	0.0

(%)



<学校コメント>

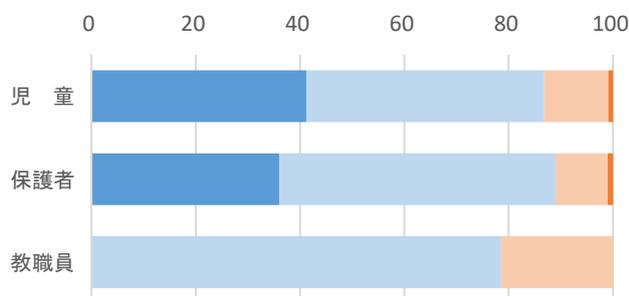
【AB群(前年比)児童91.2%(-4.4)、保護者84.0%(-4.5)、教職員85.7%(-7.1)】
 ○全体的な傾向としては、多くの児童が誰に対しても思いやりの心を持ち、相手のことを考えて話を聴く姿勢をもっているといえる。
 ●家庭と教職員は、児童の思いを大切にしながら、よりよいコミュニケーションの在り方について支援・指導していくことが求められる。

質問10 健康・運動に関する項目

- (児童) あなたは、決まった時間に寝たり起きたりして規則正しい睡眠をとることができますか。
 (保護者) お子さんは、規則正しい睡眠がとれていますか。
 (教職員) 子どもたちは、規則正しい睡眠ができていますか。

10	ややあてはまる あてはまる ややあてはまる ややあてはまる あてはまらない まる まら まらない ない			
	A	B	C	D
児童	41.2	45.6	12.3	0.9
保護者	36.0	53.0	10.0	1.0
教職員	0.0	78.6	21.4	0.0

(%)



<学校コメント>

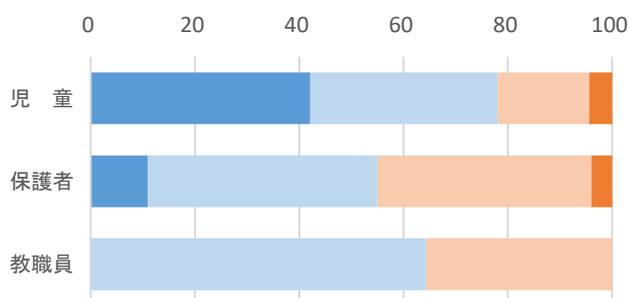
【AB群(前年比)児童86.8%(+4.4)、保護者89.0%(+2.2)、教職員78.6%(-14.3)】
 ○全体的な傾向としては、多くの児童が規則正しい生活を継続しているといえる。
 ○生活基盤である規則正しい生活習慣の形成に向けて、保護者が積極的に関与し支援している実態が表れた。
 ●睡眠の様子は教師が判断しづらい面もあるのか、教職員と児童・保護者との評価に差がある。C群の理由は、子どもたちから「10時に寝た。」といった会話が日常的に聞こえてくるとのこと。家庭と連携を図り、8時間は睡眠をとる習慣が身に付くようにしていくようにしたい。

質問11 健康・運動 に関する項目

- (児 童) あなたは、食事は好き嫌いなく食べていますか。
 (保護者) お子さんは、バランスの良い食事をとっていますか。
 (教職員) 子どもたちは、バランスの良い食事をとっていますか。

11	<small>あてはまる</small> <small>ややあてはまる</small> <small>ややあてはまらない</small> <small>あてはまらない</small>			
	A	B	C	D
児 童	42.1	36.0	17.5	4.4
保護者	11.0	44.0	41.0	4.0
教職員	0.0	64.3	35.7	0.0

(%)



<学校コメント>

【AB群（前年比）児童78.1% 保護者61.5%、教職員64.3%】

●昨年度は「間食を控え、バランスのよい食事をとっているか。」という質問だったため、比較できない。教職員の評価から、バランスのよい食事をとることに課題を感じていることがうかがえる。学級にもよるが肥満児童が1名程度いることや給食で好き嫌いをする様子から改善する必要性を感じている。

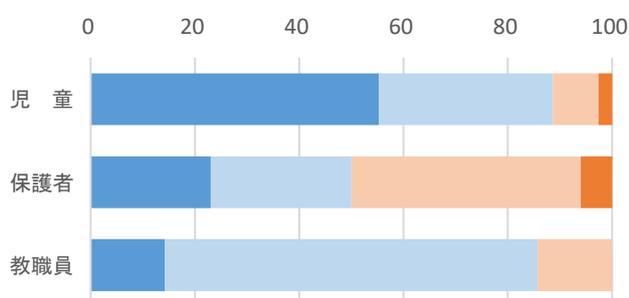
●「バランスの良い食事」に対する意識を高めるため栄養教室を継続して実施しているが、学んだことを家庭とも共有する機会を設定する必要がある。

質問12 健康・運動 に関する項目

- (児 童) あなたは、自分の体力を高めようとめあてを持って運動をしていますか。
 (保護者) お子さんは、めあてを持って運動をしていますか。
 (教職員) 子どもたちは、めあてを持って運動をしていますか。

12	<small>あてはまる</small> <small>ややあてはまる</small> <small>ややあてはまらない</small> <small>あてはまらない</small>			
	A	B	C	D
児 童	55.3	33.3	8.8	2.6
保護者	23.0	27.0	44.0	6.0
教職員	14.3	71.4	14.3	0.0

(%)



<学校コメント>

【AB群（前年比）児童88.6%（+1.8）、保護者50.8%（-11.9）、教職員85.7%（±0）】

○全体的な傾向としては、多くの児童はめあてをもって運動に取り組んでいることがいえる。学校における体育的行事や教科体育の運動では、めあてをもって活動していることから児童の高い評価になっていると推察される。

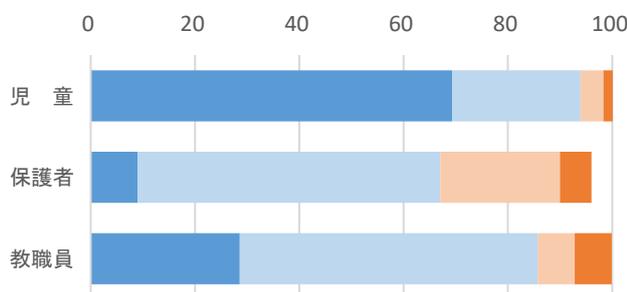
●今年度は、出前講座を実施したり市の陸上競技場でマラソン記録会を実施したりして専門的な指導を受けられる機会・環境づくりを工夫してきた。その中で、子どもの設定しためあてが保護者にも伝わるよう工夫していきたい。

質問13 健康・運動 に関する項目

- (児 童) あなたは、家庭で決めたインターネット等を使う約束事を守れていますか。
 (保 護 者) お子さんは、家庭で決めたインターネット等を使う約束事を守れていますか。
 (教 職 員) 子どもたちは、ICT機器を使う際ルールを守ることができていますか。

※ 家庭でインターネットを使う際の約束事を決めている。81.5% 決めていない18.5%

13	あてはまる			
	A	B	C	D
児 童	69.3	24.6	4.4	1.8
保 護 者	9.0	58.0	23.0	6.0
教 職 員	28.6	57.1	7.1	7.1



(%)

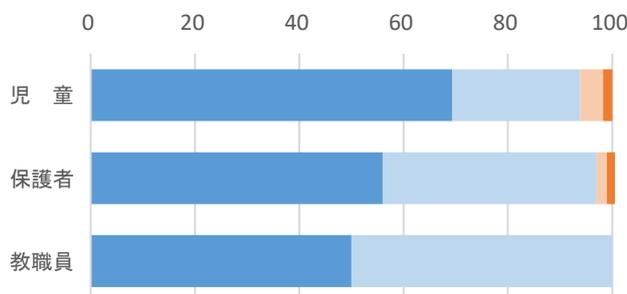
<学校コメント>

【AB群 (前年比) 児童93.9%、保護者69.2%、教職員85.7%】
 ○昨年度は、「メディアコントロールができていますか」を問う形式だったため、単純比較はできないが、ルールを守ってICTを活用することができている児童が多い。全体的な傾向としては、多くの児童はメディアコントロールの意識をもって生活しているといえる。
 ●CD群において児童と保護者の評価にギャップがある。児童としては守っているつもりでも、大人から見れば守れていない児童が一定数いることが分かる。ICTを使う際のきまりを児童・保護者・教職員で再確認し、適切に運用されているのかといったチェック・管理のあり方を検討・改善していく必要がある。

質問14 学校運営 に関する項目

- (児 童) 先生は、みなさん一人一人の様子をとらえ、努力を認めて生かすように努めていますか。
 (保 護 者) 先生は、子ども一人一人の様子をとらえ、その子の努力を認めて生かすように努めていますか。
 (教 職 員) 子ども一人一人の様子をとらえ、その子の努力を認めて生かすように努めていますか。

14	あてはまる			
	A	B	C	D
児 童	69.3	24.6	4.4	1.8
保 護 者	56.0	41.0	2.0	3.6
教 職 員	50.0	50.0	0.0	0.0



(%)

<学校コメント>

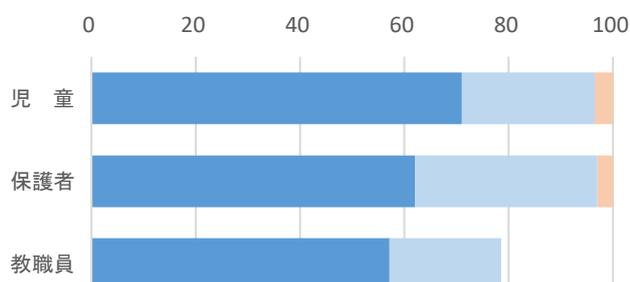
【AB群 (前年比) 児童93.9% (+4.3)、保護者97.0% (+0.5)、教職員100% (±0)】
 ○全体的な傾向としては、多くの児童・保護者が、教職員が自分(子ども)の努力を認めてくれていると感じているということがいえる。A群は児童が10%、保護者が7%増加している。
 ○教職員も認めていると評価し、児童・保護者との評価に違いがない。
 ●CD群を0にできるように、教職員は学校全体で児童を見取り、そして価値付けをしていくようにさらに工夫していくことが求められる。

質問15 学校運営 に関する項目

- (児 童) 学校は、いじめがない温かな学級づくりに努めていますか。
- (保護者) 学校は、いじめがない温かな学級づくりに努めていますか。
- (教職員) いじめがない温かな学級づくりに努めていますか。

15	<small>あてはまる</small> <small>ややあてはまる</small> <small>ややあてはまらない</small> <small>あてはまらない</small> <small>あてはまる</small> <small>まる</small> <small>まらない</small> <small>ない</small>			
	A	B	C	D
児 童	71.1	25.4	3.5	0.0
保護者	62.0	35.0	3.0	0.0
教職員	57.1	21.4	0.0	0.0

(%)



担任外の職員は回答外のため100%になりません。

<学校コメント>

【AB群 (前年比) 児童96.5% (+6.1)、保護者97.0% (-0.3)、教職員100% (±0)】

○全体的な傾向としては、多くの児童・保護者・教職員ともに、学校はいじめがない温かな学級づくりに努めていると感じているということがいえる。

○保護者の評価では、A群が17%増えている。また昨年度は児童の評価にD群が1名いたが、0になったのは成果である。

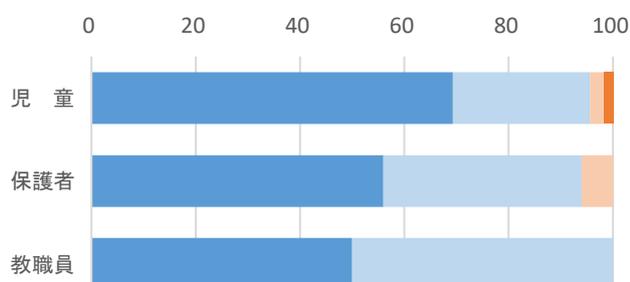
●児童回答にC群があることから、教職員は児童の様子をよく見とり、子どもの視点で温かいと感じる学級経営ができてきているかを判断し、対応していくことが必要である。

質問16 学校運営 に関する項目

- (児 童) 学校は、心や体の悩みや相談に対して、親身になって対応していますか。
- (保護者) 学校は、お子さんの悩みや相談に対して親身になって対応していますか。
- (教職員) 子どもたちの悩みや相談に対して親身になって対応していますか。

16	<small>あてはまる</small> <small>ややあてはまる</small> <small>ややあてはまらない</small> <small>あてはまらない</small> <small>あてはまる</small> <small>まる</small> <small>まらない</small> <small>ない</small>			
	A	B	C	D
児 童	69.3	26.3	2.6	1.8
保護者	56.0	38.0	6.0	0.0
教職員	50.0	50.0	0.0	0.0

(%)



<学校コメント>

【AB群 (前年比) 児童95.6% (+4.4)、保護者94.0% (+2.8)、教職員100%】

○全体的な傾向としては、教職員が心や体の悩みや相談に親身になって対応していることに対して、多くの児童・保護者も、同様に受け止めていることが言える。

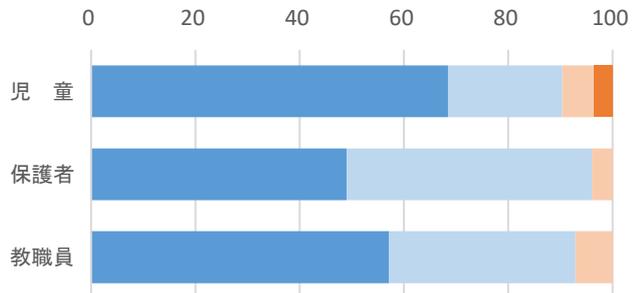
○A群は児童が11%、保護者が6%増加している。

●児童・保護者の回答にはCD群があるので、0人にできるよう学校全体で見とり、見とったことを教職員間で日常的に共有する体制を強化していく必要がある。

質問17 学校運営 に関する項目

- (児 童) 学校は、みなさんの願いを聴き、必要なことはすばやく対応していますか。
- (保護者) 学校は、保護者や地域の要望に迅速に対応していますか。
- (教職員) 保護者や地域の要望に迅速に対応していますか。

17	<small>あてはまる</small> <small>ややあてはまる</small> <small>ややあてはまらない</small> <small>あてはまらない</small> <small>あてはまる</small> <small>まる</small> <small>まらない</small> <small>ない</small>			
	A	B	C	D
児 童	68.4	21.9	6.1	3.5
保護者	49.0	47.0	4.0	0.0
教職員	57.1	35.7	7.1	0.0



<学校コメント>

【AB群（前年比）児童90.4%（-3.5）、保護者96.0%（+2.0）、教職員92.9%（-7.1）】

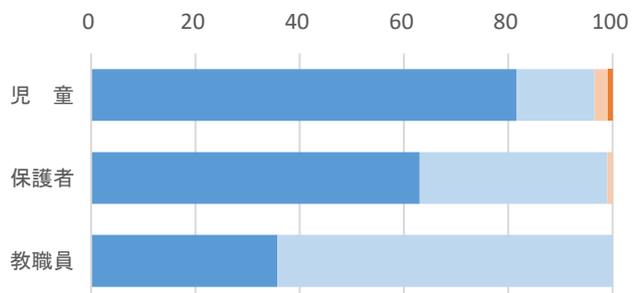
○全体的な傾向としては、多くの児童は、学校は自分たちの要望を聴き、必要なことはすばやく対応していると感じているといえる。A群は児童が約10%、保護者が4%増加している。

●児童・家庭・地域から様々な意見をいただく中で、緊急性や安全面を考慮しながら優先順位をつけて対応してきた。児童にCD群がいるため、0にできるよう必要に応じて要望を共有し、迅速に対応していく。また学校として施設面での要望に答えられていない面もあるため、教育委員会と連携を図りながら対応していく。

質問18 学校運営 に関する項目

- (児 童) 学校は、学校生活の様子を学級だよりや学校ホームページなどで分かりやすく伝えていきますか。
- (保護者) 学校は、教育活動の様子を各種便りや、学校ホームページ等で分かりやすく伝えていきますか。
- (教職員) 教育活動の様子を各種便りや、学校ホームページ等で分かりやすく伝えていきますか。

18	<small>あてはまる</small> <small>ややあてはまる</small> <small>ややあてはまらない</small> <small>あてはまらない</small> <small>あてはまる</small> <small>まる</small> <small>まらない</small> <small>ない</small>			
	A	B	C	D
児 童	81.6	14.9	2.6	0.9
保護者	63.0	36.0	1.0	0.0
教職員	35.7	64.3	0.0	0.0



<学校コメント>

【AB群（前年比）児童96.5%（+1.7）、保護者99.0%（+7.0）、教職員100%（±0）】

○全体的な傾向としては、多くの児童は、学校は学校生活の様子を学級だよりや学校ホームページ等で分かりやすく伝えていていると感じているといえる。

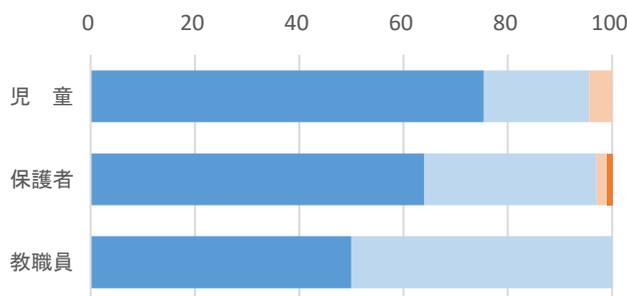
○「ホームページの更新が少ない」とのご意見は無くなった。A群は児童が16.7%、保護者が14.3%増加している。しかし、更新回数において学年にばらつきがあるため、各学年実施した行事は学年担任が更新する意識づくりを行っていく。

質問19 学校運営 に関する項目

- (児 童) 学校は、教育環境を整備し、美化・安全管理に気を配っていますか。
- (保護者) 学校は、教育環境を整備し、美化・安全管理に気を配っていますか。
- (教職員) 教育環境を整備し、美化・安全管理に気を配っていますか。

19	<small>あてはまる</small> <small>ややあてはまる</small> <small>ややあてはまらない</small> <small>あてはまらない</small>			
	A	B	C	D
児 童	75.4	20.2	4.4	0.0
保護者	64.0	33.0	2.0	1.0
教職員	50.0	50.0	0.0	0.0

(%)



<学校コメント>

【AB群 (前年比) 児童95.6% (-2.6)、保護者97.0% (-1.2)、教職員100% (±0)】

○全体的な傾向としては、多くの児童は、学校は教育環境を整備して美化・安全管理に気を配っていると感じているといえる。AB群の割合は減っているように見えるが、A群の割合自体は、児童が+5.4、保護者が+3に増えている。

○学校美化・安全管理は、全教職員が最も配慮して取り組んでいることの一つである。今年度は交通安全の看板なども設置しているが、保護者に伝わっていない部分もあるようだ。

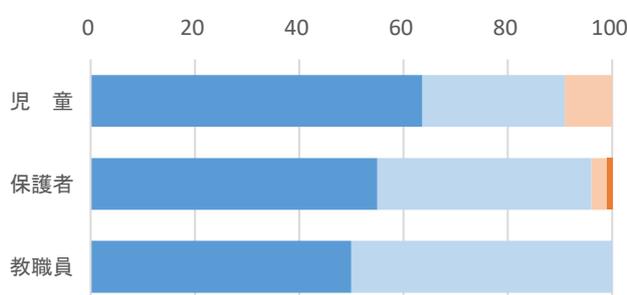
●保護者・地域の方々の目線からお気づきのことがあれば、今後ご教示願いたい。

質問20 学校運営 に関する項目

- (児 童) 学校は家庭や地域との連携を適切に行っていますか。
- (保護者) 学校は、PTA、地域、関係機関との連携を適切に行っていますか。
- (教職員) PTA、地域、関係機関との連携を適切に行っていますか。

20	<small>あてはまる</small> <small>ややあてはまる</small> <small>ややあてはまらない</small> <small>あてはまらない</small>			
	A	B	C	D
児 童	63.6	27.3	9.1	0.0
保護者	55.0	41.0	3.0	1.0
教職員	50.0	50.0	0.0	0.0

(%)



<学校コメント>

【AB群 (前年比) 児童90.9% (-5.6)、保護者96.0% (-3.1)、教職員100% (±0)】

○全体的な傾向としては、多くの児童は、学校は家庭や地域との連携を適切に行っていると感じているといえる。

○今年度も学校支援ボランティアによる活動支援や保護者や中学校教員による体育の指導等をいただいたことで、教育活動の安全面の確保とともに、学びの深まりを得ることができた。心から感謝申し上げる次第である。

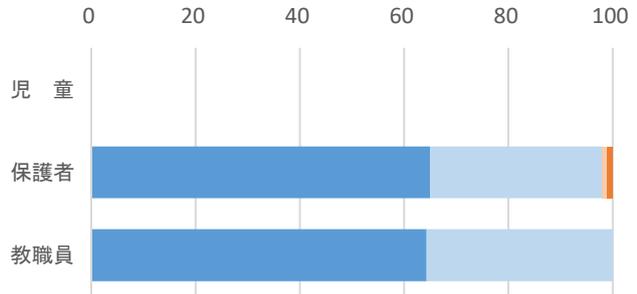
●PTA奉仕作業や資源回収でも、保護者及び地域の方々の協力をいただいたおかげで、学習環境の整備並びに学習活動費が充実した。一方で、保護者の評価のCD群が3%増えている。

質問21 その他 に関する項目

- (児 童)
 (保護者) 学校は、命の大切さを教え、健康や安全を意識した生活ができるよう健康教育や防災教育に取り組んでいますか。
 (教職員) 命の大切さを教え、健康や安全を意識した生活ができるよう健康教育や防災教育に取り組んでいますか。

	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない
21	A	B	C	D
児 童				
保護者	65.0	33.0	1.0	1.0
教職員	64.3	35.7	0.0	0.0

(%)



<学校コメント>

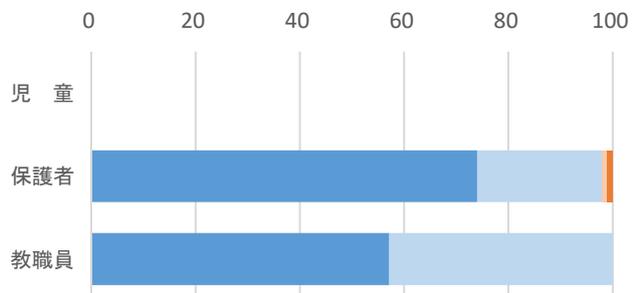
【AB群（前年比）保護者98.0%（-1.7）、教職員100%（±0）】
 ○全体的な傾向としては、保護者・教職員ともに命の大切さを教え、健康教育や防災教育に取り組んでいると感じているといえる。
 ○引き続き、生命の尊重、健康の保持増進、防災への取り組み及び災害時の対応について、児童の実態に応じた指導を展開していく。
 ●保護者においてCD群が各1名いる。道徳教育や生徒指導の充実を図りながら、0人にできるようにしていく。

質問22 その他 に関する項目

- (児 童)
 (保護者) 学校は、様々な体験的な活動を取り入れ、自然や地域社会と深く関わる機会を設けていますか。
 (教職員) 様々な体験的な活動を取り入れ、自然や地域社会と深く関わる機会を設けていますか。

	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない
22	A	B	C	D
児 童				
保護者	74.0	24.0	1.0	1.0
教職員	57.1	42.9	0.0	0.0

(%)



<学校コメント>

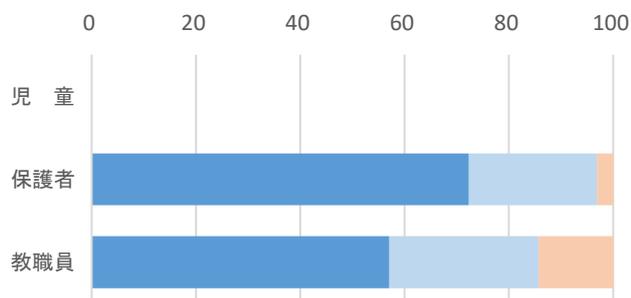
【AB群（前年比）保護者98.0%（-2.0）、教職員100%（±0）】
 ○全体的な傾向としては、保護者・教職員ともに様々な体験活動を取り入れ、自然や地域社会と深く関わる機会を設けていると感じているといえる。
 ○体験活動については、ねらいに沿って安全面、教育効果を考慮した上で精選し、教育課程に位置づけていきたい。
 ●保護者においてCD群が各1名いる。体験活動の充実を図り周知しながら、0人にできるようにしていく。

質問23 その他 に関する項目

- (児 童)
- (保 護 者) 学校は、地域の人々や専門家による指導など多くの人と触れあい学ぶ活動を行っていますか。
- (教 職 員) 地域の人々や専門家による指導など多くの人と触れあい学ぶ活動を行っていますか。

	A	B	C	D
23				
児 童				
保 護 者	72.3	24.6	3.1	0.0
教 職 員	57.1	28.6	14.3	0.0

あてはまる ややあてはまる ややあてはまらない あてはまらない



(%)

<学校コメント>

【AB群（前年比）保護者97.0%（-0.3）、教職員85.7%（±0）】

- 幼児期において地域や専門家から学ぶ機会を多く設定できるよう改善していく。
- 今年度も毎日児童の通学路の安全を守ってくださる地区交通安全協会の方々・各地区区長様・地域住民の皆様、学校畑を絶えず気にかけてくださる農家の方々・学校支援ボランティアの方々、生活科・社会科見学で快く児童の見学を引き受けてくださった地域のお店・企業の方々、奉仕作業や資源回収では地域総出で取り組んでくださるなど、学校の諸活動は地域の人々からのお力添えをいただくことで進めることができた。心より感謝申し上げる次第である。